



24年度 第7号
通巻1805号

発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



給与改善などを求め

人事委員会と話し合い

未配置と長時間過密労働の解消に向けて 県人勧に「実効ある措置」記述を求める

高知県教組・高教組では、8月の国の人事院勧告(国人勧)を受け、高知県公務労組連絡会の要請行動(9月20日)への参加も含め、9月に3回の県人事委員会への要請行動(以下、話し合い)を行いました。県人事委員会勧告(以下、県人勧)での改善の記述を求めました。

1. 9月17日の人事委員会事務局長との話し合い(2時間、15名)と同25日の人事委員長との話し合い(1時間、写真下、16名)の主な項目は次の通りです。
1. すべての教職員の月例給・一時金を引き上げ。通勤手当の改善と、国

人勧で改善された高速道路利用料の全額支給などの勧告を行うこと。
2. 配偶者に係る扶養手当を削減・廃止しないこと。
3. 「総実勤務時間の短縮」について、持ち時数制限や教職員増、授業時数の見直しなど実効ある施策を講ずるよう、「任命権者」の一層の努力を促すこと。
4. 産育休・病休代替の未配置の実態を人事委員会としても把握し、教育委員会等の人員の活用を含む緊急の対策並びに抜本的改善を求めること。

5. 定年まで働き続けられる職場環境への改善。また、定年延長により給与を7割に減じる措置を廃止あるいは改善すること。
6. ハラスメントの予防、被害拡大防止と救済のため公正で透明性のある相談体制確立など。
話し合いでは、参加者それぞれが自身や職場の現状と切実な願いを具体的に訴えました。また、みなさんにもご協力をお願いした女性部のアンケートの結果等の資料も示しました。そうした中、全年代での給与改定や特急料金・高速道路料金の全額支給、再任用職員への住居手当

と特地手当(へき地手当)の支給などは、高知でも(改善の方向で)国の制度にどう合わせるか検討していることが明らかになりました。また、学校現場の長時間勤務の実態や時間講師の待遇改善を求める声については、大きく領いたり、確認の質問をしたりするなどの、積極的に受けとめてもらえたことは前進でした。しかし、「配偶者に係る扶養手当の削減」では「制度は国準拠」の姿勢を崩しませんでした。また話し合いの中で

私たち組合は、8月に出された中教審答申(定数改善をしない、残業代を払わない、仕組みは残す、手当や新しい職で差を付ける)では長時間勤務は解決しないことを強く訴えました。人事委員長は「教員への処遇改善が打ち出されていることには注目している」と答えるにとどめました。定年延長者・再任用者の給与が下がることについては、人(2面に続く)



お城下

この教育通信がみなさんのお手元に届くのは多分総選挙中。ただ一言みなさん、投票に必ず行きましょう▼投票日に投票所へ行けなくても、平日の夜8時まで不在者投票が役場などで可能です。イオンなど一般的な商業施設で不在者投票が出来る所もあります▼「政治的中立って言われるから、自分は投票して良いのかな」という考えの人もいます。大丈夫です。というより、選挙権は人類・民主主義の長い歴史の中で築き上げられてきたとても大切な権利です。これを行使しない手はありません▼今年は、高知の偉人・板垣退助が民選議院設立の建白書を出して、自由民権運動を始めてから150年。様々な弾圧に抵抗した人々の努力で、持っている財産や性別にかかわらず誰でも投票が出来る国になりました▼行っても変わらないと思っている人が行けば世の中は変えられます。ぜひ投票に!(和)

原水爆禁止2024年世界大会に参加して ～分科会「青年のつどい」での学びを中心に～ 高知県教職員組合青年部 田崎 恵太

今回、初めて原水爆禁止世界大会に参加した。全体会では、その規模と迫りに圧倒された。2日目の分科会では、「青年のつどい」に参加した。以下は、そこで感じたこと、考えたことのみ。

まず、広島での原爆の被爆者の方の体験を聞いた。これまでも何度か被爆者の方の話聞いてきたが、最もリアルで生々しいと感じた。白い粉を踏んで逃げたが、それが人骨だった話や、食べられる直前のウサギの鳴き声の話、肌で感じた熱の話などを聞くと、被爆地の惨状や必死に生きようとする人々の思いが伝わってくる。だんだんと被爆者の方が少なくなっている中で、とても貴重な機会であった。

つぎに、平和運動をしている海外の青年の方々の話を聞いた。大学を辞めさせられてでも積極的に運動する姿に心を動かされた。その青年は次のように話していた。平和のためにできることは、①日本や世界の歴史など「知識を得る」こと、②真実を見抜くこと、③行動すること。我々にお金や権力はないが、数という武器がある。正しい知識を得、それを広げるために、対話は欠かせない。海外での活動の様子を知ることができ、これも貴重な体験であった。

青年にも、青年だからこそできることがある。今だからこそできることを考え、共有し、実践していきたい。



県教組青年部では、原水禁世界大会に代表を送ろうととりくみ、写真のように6名を送りました。

事委員長は、「広島(再任用者の月例給を定年延長者の月例給水準へ引き上げ)などのことは承知しているが、制度は国準拠とすることが基本である」と答えました。代替未配置など教員不足が深刻な高知県で、県独自でも改善を促す姿勢がみられなかったのは残念でした。

6については、女性部が行ったアンケートに寄せられたハラスメントの具体的な例や1割程度がハラスメントを受けたと答え、相手は7割弱が管理職であること、小中学校でも管理職評価やハラスメントアンケートを実施してほしいことなどを伝えました。また、県立学校のハラスメ

ントアンケート(5年間行われてきた)から現れている実態は改善していないこと等も伝え、防止対策へより具体的改善を求めるものにしてほしいと訴えました。最後に、労働基準法や労働安全衛生法の違反状態といえる現在の学校現場の働き方について、人事委員会が持つ労働基

準監督機能を十分に發揮してほしいと訴えています。高知県教組・高教組では「全教職員を対象とした賃金改善等を求める署名」(今回の教育通信に同送、以下、賃金署名。オレンジ色の紙です)に取り組みます。10月中旬には、県人勸が出されます。それも踏まえた改善

を求めて、賃金署名を提出しながら11月に県教委と交渉を行います。これだけの多くの県内教職員が改善を求めているということを示すためにも、みなさん、ぜひ「賃金署名」にご協力下さい。よろしくお願ひします。(書記次長・石川)

県労連大会開催 植野書記長が実態を発言

9月15日

(日)、高知県労働組合連合会(以下、県労連)の第37回定期大会が高知城ホールを会場に行われました。



県内の様々な職種の労働組合が集まり、協力し合いながら高知県内の民主的な運動を進めている団体です。高知県教組は、県労連結成時から参加し、その運動に協力してきました。

大会では、運動方針の提起の後、参加者から発言が相次ぎました。高知県教組からは、植野書記長が発言(写真、右下)。その要旨は、次の通りです。

臨教不足だけでなく、先生の数自体が足りないのが今の

学校現場。少数職種では代替もないし、若年退職も増加している。しかし、その人不足の対応を現場の努力に任せて押しつけてきているのが今の教育行政。こうした現実を、保護者・地域と語り合い、改善させていく運動を今展開しようとしている。県議会・国会に向けた教育署名にもご協力下さい。

なお、県労連の新年度執行委員には、細木久義委員長が選出されています。

2024年9月13日

高知県教育委員会
教育長 長岡 幹泰 様

高知県教職員組合
執行委員長 細木 久義

高知県高等学校教職員組合
執行委員長 谷内 康浩



2026年度教員採用候補者選考審査日程等に関する申し入れ書

貴教育委員会におかれましては、本県の教育向上・発展のためにご尽力頂いていることに敬意を表します。

さて、文部科学省は、近年の採用倍率の低下や受験者数の減少、民間企業等の就職活動の動向を踏まえ、教員志願者の増加を図り、質の高い教師の確保に繋げるために、2025年度(2024年度実施)の教員採用選考試験の第一次選考について、2024年6月16日の目安(標準日)を示し、多くの自治体が日程を早めました。文部科学省はさらに、2024年4月26日付の通知で、2026年度(2025年度実施)の第一次選考の日程をさらに早め、2025年5月11日の目安(標準日)を示しました。高知県教育委員会は、全国に先駆けて日程を早めて実施してきましたが、今年度は文部科学省の示した日程よりも早い、6月1日に実施しました。しかし、受審者は前年度に比べて全体で300名近く減少し、しかもそのうち高知会場での受審者が90名も減少するなど、2025年度採用の人数確保が心配される状況となっています。第一次選考の日程の早期化が、「教員志願者の増加を図り、質の高い教師の確保」に繋がっているのか、この間の取り組みの総括を行うことが求められています。本来、教員採用選考試験の日程は、地方自治体が決めるべきものであり、国が日程を示すことは、地方自治の本旨の反するものです。

以上のことを踏まえ、下記の事項を要望いたします。なお、採用審査制度全般については、後日、別途申し入れを行う予定です。

記

- 1 第一次選考の日程の早期化が、「教員志願者の増加を図り、質の高い教師の確保」に繋がっているのか、この間の取り組みの総括を行うこと。
- 2 総括を踏まえ、文部科学省が示す日程にこだわることなく、採用審査日程を決定すること。その際、次の点を配慮すること。
 - ①受審する大学4年生の教育実習の日程を考慮し、教育実習後に受審できるように配慮すること。
 - ②学校現場に着任している臨時教員の負担を考慮した日程とすること。
 - ③他都道府県や政令市の日程に先駆けて実施することで、辞退者(一次審査合格者で二次審査を受けない者や名簿登載者で辞退する者)や、採用数年後に退職する者(特に他都道府県の出身者)が多くなっている現状を考慮し、本当に高知県の教員を目指す者が受審できる日程を決定すること。
- 3 高知県で臨時教員(支援員等を含めて)として着任している者への一次審査免除要件を拡大するなど、日程のみならず臨時教職員への配慮を一層すすめること。

以上

臨教に配慮した採用審査日程を！

9月13日、県教委に申し入れ

今夏の高知県の採用審査(一次審査)は、6月1日に行われました。これは、文科省が目安日とし

ている6月15日よりも約二週間早い日程です。高知県教委は、ここ数年、全国トップクラスの早い日程

で採用審査を行うことで受審者数を確保することを繰り返ししてきました。しかし、辞退者が多数出るな

ど、問題もあります。そんな中、文科省は来年度の採用審査の目安日を5月11日としています。今までも通りならば、4月中に実施する可能性も懸念されます。これでは、年度スタートの4月の超多忙な

中、学校現場に着任している臨教の人たちは、受審勉強をすることは出来ません。そこで、左の通りの申し入れを行います。現場の臨教に配慮した採用制度と納得しよう、運動を継続していきます。

臨時教職員の方にアンケートのお願い

今回の申し入れ書は審査日程に関することが中心でした。臨時教職員の待遇や採用審査全般についての改善の要望は、改めて後日提出します。そこで、みなさんの声をお聞かせ下さい。みなさんからいただいた思いをその要望書に反映させて、実現を求めていきたいと思えます。

下のQRコードからアンケートを回答できますので、ぜひご協力下さい。よろしくお願います。



教職員のための自動車保険は



全教自動車保険

教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

高知県内を流れる1・2級河川⑦

1	2	3	4
5			
6		7	8
9		10	11
12			
13			14

の25番目

11. ○○○

の相続でもめることとはしたくないな。

【ヨコの力】

1. 今年は10月14日。

5. アルファベット

5. アルファベット

6. 劇中の演技として行う格闘や斬り合い

9. いかにも弱そうに見える様子。形容詞。

12. いかにも純真な様子。名詞。

13. 残ったもの。あまり。

14. くつつきワードと○○、い○○じ、○○(一)

かぎを解いて二重

【ヨコの力】

1. 今年が10月14日。

5. アルファベット

5. アルファベット

6. 劇中の演技として行う格闘や斬り合い

9. いかにも弱そうに見える様子。形容詞。

12. いかにも純真な様子。名詞。

枠に入る2文字で、高知県内を流れる1・2級河川の名前(○)川、解答には川をつけてね)を作つて下さい。(なお、今回は最初安田川で作りましたが、回答の場所が偏った形になったので、欄はそのままでの回答を見出しました。2級河川ですがマニアックな川になっています。ご了承ください。)

①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送つて下さい。締切は11月29日(金)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただくことがあります。

【8月号の当選者】

「よしの川(吉野川)」でした。抽選の結果、次の3名の方が当選されました。おめでとうございませう。

くつつきさん (高知海洋高)

うちわさん (ろう学校)

P.N.城北太郎さん (城北中)



【みなさんの声より】

○今年こそは夏休みを全休しようとしていた17日分と特休を5日、併せて22日間休みを取りました!とは言っても、やることはたくさんあるので合間に何度も学校に足を運びました。いつもこの時期になると思うのですが、年休を買って取ってもらいたい(昔は買い取ってくれていたと聞きまして注*)。あるいは、年休が足りなくて困っている人に分けてあげたいと常々思っています。消化せずに捨てるのが勿体なすぎます!

(注*今も民間は、退職時など例外的な場合に買い取りが可能。残念ながら、公

務員には昔も今も適用されていません。)

○夏休みも終わり、2学期が始まったけれど秋の気配は朝晩だけ。教室は、冷房がフル稼働中。

○2学期が始まりました。体育祭や学習発表会など行事が盛りだくさんです。子どもたちが中心となる輝ける発表の場となるよう、普段の学習の準備をしていきたいと思います。

○11ヶ月の孫が、寝返りもせず、ハイもせずでしたが、1歳を前に、急にかまり立ち、寝返りと、みるみる成長。こどもはずい!!

○自民党総裁が決まり裏金解散で衆議院選挙となるが、私たちが求める平和な世界や安心できる暮らしを守る候補者を選びたい。

○教職員不足が喫緊の課題であることを、身をもって感じています。

○この春卒業したばかりの初任者を筆頭に、2年次、3年次の若手が活躍中の本

校。〜どんどん吸収していく若手陣に刺激を受けつつ、パワーを分けてもらいなから、何とか忙しさを乗り切っている日々です。それにしても、若年教員の研修の多さ。何とかならないものでしょうか…。

○熱い高知でチャレンジ!土地に慣れていない私に、親身になって様々なことを親切に教えていただき、大変感謝しております。ありがとうございました。

○教員になって、自分の担任だった先生や知っている先生の名前を見つけるととても嬉しい気持ちになります。お元気にされているのだから。覚えてくれていたらいいな、ご一緒にお仕事ができたらいいなと思っております。

○心も身体もギアチェンジして頑張ろう!

メールはこちら

